

No.6 If S should 原形と If S were to 原形

(1) If she () while I'm out, please let me know.

① came ② will come ③ might come ④ should come

(2) If the sun () rise in the west, I would never go there.

① will ② maybe ③ can ④ were to

If S should 原形の公式

If S should 原形, ① S would/could 原形(仮定法)

② S will/can/may 原形(直説法)

③ 命令文

「万が一 S が～するなら、① S は～するだろうに/～できるだろうに

② S は～するつもりだ/～できる/～するかもしれない

③ ～しなさい」

If S should 原形のポイント

実現の可能性が低い時に使われる。

話し手の主観によって仮定法にも直説法にもなる。

(ex1) If I should fail, I would try again.

(万が一私が失敗すれば、私はもう一度挑戦するだろう)

(ex2) If he should come, what will you tell him?

(万が一彼が来たら、あなたは彼に何と言うの?)

(ex3) If you should happen to hear from her, give me a call.

(万が一彼女から連絡が来たら、私に連絡して)

If S were to 原形の公式

If S were to 原形, S would/could 原形

「もし(仮に)S が～するならば、S は～するだろうに/～できるだろうに」

If S were to 原形のポイント

実現するかどうかは置いといて、自由な発想ができる。

(ex) If I were to reborn, I would like to be a cat.

(もし私が生まれ変わったら猫になりたい)

【解答】

(1) ④ (2) ④

【解説】

(1) **If S should** 原形の公式を使った文章。正解は④になる。主節が命令文になっているのでややこしい。仮定法ならば主節には **would, could** といった助動詞の過去形が使われることがルールだが、**If S should** 原形の公式だけは主節に直説法の文章や命令文がくることが可能。

【訳】 私が外出している間に万が一彼女が来たら、私に知らせてね。

(2) **If S were to** 原形の公式を使った文章。正解は④になる。主節を見ると **I would never go** となっているので、仮定法の文章と予想する。選択肢の中で仮定法になれるのは④のみ。

【訳】 太陽が西から昇ることがあっても、僕は絶対にそこに行かないよ。